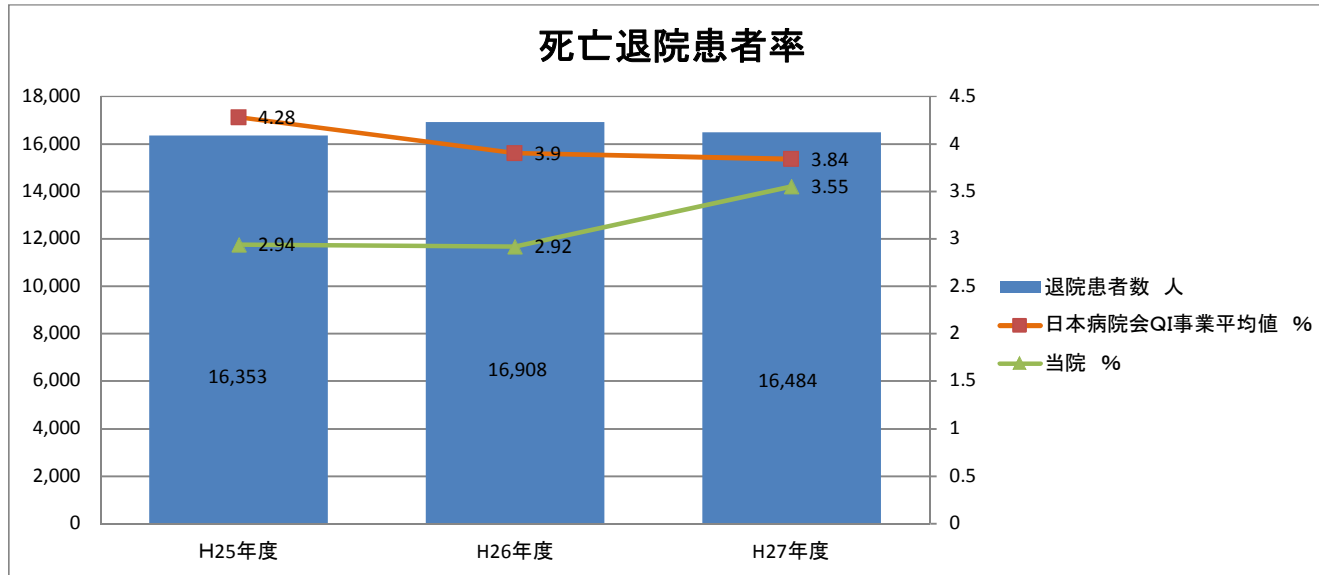


死亡退院患者率



計算方法

分子	死亡退院患者
分母	退院患者数
除外	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア等（診療報酬の算定を許可された病棟のみではなく、同様の病棟を設置している場合も含む）退院患者 ・DPCで様式1に含まれる「救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料を算定するもの）。

指標の解説

- ・死亡退院患者率は、医療施設の特長（医療圏で担う機能、地域性、病床数、入院患者さんの年齢や疾患の種類と重症度など）が異なるため、単純に医療の質の良し悪しを比較できるものではありません。
- ・死亡退院患者率の推移を追っていくことで、医療の質が変化していないかを知るのに役立ちます。

結果・考察

- ・平成27年度の死亡退院患者の割合は増加していますが、前年まではほぼ横ばいとなっていました。推移としては全国平均よりも低い死亡退院患者率を維持しています。